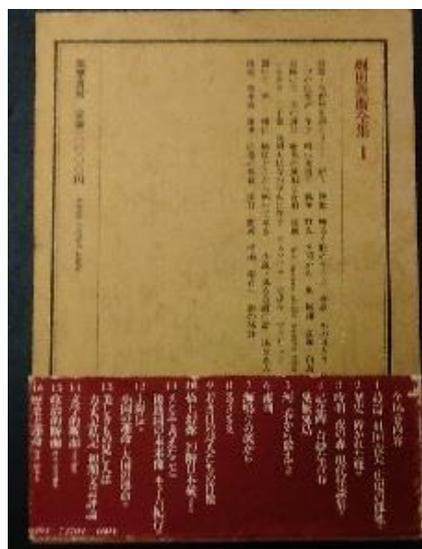
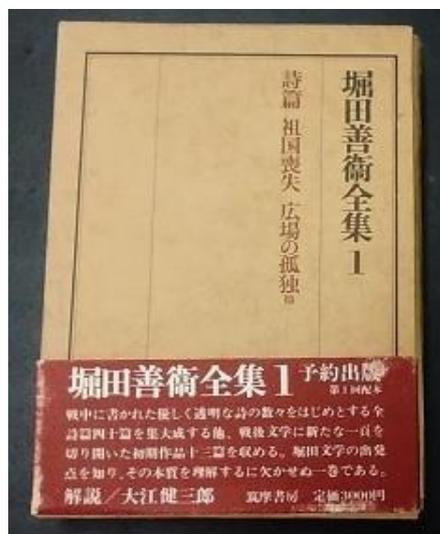


(再掲) 2019年4月1日(月) 朝のうちは晴れ、新元号発表「令和」
『堀田善衛全集』見なおす試み

堀田善衛全集(筑摩書房 1974年6月20日発刊開始)



2020年7月1日(水) 曇り

昨夜はよく降った。風も強くて、小さな台風が通過している感じだった。今朝はちょっと陽が差し、また曇って、一日こんなお天気。今年も半分がおわり、後半の始まり。

— 30年後をうらなう2020年 —

今日の朝刊トップ記事は「香港国家安全法が施行」。今朝の『ひと言ひとり言』でもふれたが、香港だけでなく、世界は大きな分岐点に立った。記事を読みながら、どうしても1989年が浮かぶ。

1989年は昭和から平成になった年だが、「天安門事件」、ベルリンの壁崩壊、冷戦終結といった世界の大転換の年だった。4年前に大阪YWCAに寄稿したメッセージにも書いたが、当時直感したことがこれから現実になりつつあるのかしらと思ったりする。

一方でよりよい社会にしようとしてデジタル技術を駆使して人々の良識に働きかける若い人たちの多様な動きがある。上から目線で出資を申し出る旧来の投資家や著名経営者に背を向け、大らかにしなやかに世界に出る人たち。

秋のアメリカ大統領選挙の結果を合わせ、世界の30年後をうらなう2020年となるよう。

*大阪YWCA 100周年記念寄稿文

<http://www.leeslee.com/YWCAOsaka20160714.pdf>

2020年7月7日（火） 雨

伊丹市立美術館80周年 生誕周年 『熊谷守一展—わたしはわたし』



友人から招待券をもらった。名前は知っていたが、作品も人生も今回はじめて詳しく知った。その精神に共感するし、作品に若さを感じる。70才になって自分の〈型〉ができたという。ひたすら〈自分ならでは〉を探究した人のようで、展示の中でいくつか紹介されている「熊谷守一」の言葉に深く頷く。この展示、全国を巡回するそう。「コロナ」で会期がのびている。必見の展示。

2020年7月6日（月） 雨

また降り始めてきた。今週はずっと雨の予報。九州は大雨の被害が大変なことになっている。まだ今日明日と注意が必要。さて、近畿の梅雨明けはいつになるか。

— 日の入り反転 —

超朝型シフトを続けている。今朝は6時50分に事務所へ着いた。超朝型といっても、同じように朝早くから動いている人は多い。時に、朝帰り？と思わせる人もいたりする。

夏至はすぎたが、大阪の日の出は6月16日から反転してして少しずつ遅くなり始めている。日の入りは今日を境に、明日から反転して早くなり始める。今日は19:15、明日は19:14。

昨夜テレビで若い俳優たちがアフリカへバックパッカーの旅をする番組を少しみた。彼らが感嘆したのは、星が空にあるのではなく地上にあるように見えること。視聴するこちらも、そのまばゆい光景に目を瞠った。

今日明日のお天気が晴れなら、日の入り前の西空を望みたい。瑠璃から紺青、そして瑠璃紺へと重なるグラデーションに、星々が控えめに輝いて、都市の風景を少しは見映えさせる。

明日は小暑、「七夕」。雨なのは残念。

2020年7月10日（金） 雨

ずっと雨。全国に大雨の被害多。かつて仕事で足を運んだ土地いくつかあり。当時のみなさんはどうされているか。明後日にかけて大阪でも大雨の注意。さて梅雨明けにいつになるか。

— 2025年の街の風景 —

4月30日に始めた『ひと言ひとり言』、週3回程度の予定が、今では朝の日課となった。これもいずれ『未完自業史』を構成するものになるのだろうと思う。

さて今朝の日経トップ記事は『新常态 オフィス変貌』。オフィスのあり方を根本的に変える企業が出てきた。「コロナ前」に増えてきていたコワーキングスペースやシェアオフィスとは違う、各企業自らオフィスの分散化。都市の風景が変わっていきそう。

介護保険制度が始まった2000年以降、5、6年経った頃に目に見えて町中の風景が変ってきた。何より商店街の中にデイケアサービスの施設や事業所ができていた。

熟年の診断士の人商店街組合の活性化会議の席で、『商店街の中にああいう事業所を入れるのは論外』と、組合の役員たちに話しているのを側で聞いたことがあるが、そうかなあと感じたものだ。

社会の構造が変われば、人の意識は変わる。意識が変われば行動が変わる。商店街が「生活支援街」になってしかるべきではないかと当方は話した。たぶん、何もわかっていないと思われただろうが。

かつての「町」だけでなく「街」の風景がこれから変貌する。2025年頃にはどういう風に目にみえているだろう。

2020年7月13日（月） 雨

2週続けてほぼ雨。明日にかけてまだ大雨の注意必要。各地で被害多。樹齢1000年の大木も根っ子から折れたというニュース。言葉なし。

— ふたたび「自粛」？ —

にわかにもまた感染者数が増えてきた。再び「自粛」をという声も出てきた。超朝型へのシフトはまだ当分続けた方がよさそう。今朝は7時10分に事務所へ着いた。

BBCのニュースサイトによると、アメリカ大統領もとうとうマスクをするようにしたらしい。ブラジルの大統領は、相変わらず。ブラジルの学者が自国の大統領よりまだアメリカ大統領の方がマシと言っていたらしい。今回のマスクでそれを実証？

コロナウィルスは空気感染もあり得るとWHOが認めたらしい。早い段階からその可能性を考えていた人も少ないないと思う。神経質になるとかえってストレスになり免疫が落ちる。適度にこわがり、生活上の基本的な予防策を続けるようにしたい。

今朝のニュースで気になるのは病院経営の厳しさ。看護師たちの大量退職が見込まれるとのこと。2020年後半、「コロナ禍」の対策はこれからが本番かもしれない。

2020年7月20日（月） 今のところ晴

午前8時、今のところ大阪は晴れ。蝉の合唱、でも少し勢いが
ない。陽ざしが弱いせいか。明日は土曜の丑、明後日は大暑。

ー オンライン/オフラインの割合 ー

今朝の日経トップ、『企業機密 闇市場で売買』は目をひい
た。在宅勤務が増えて情報流出のリスクが拡大しているとか。ツ
イッターのハッキング問題もあったばかり。これまでもこれから
も、防止策に完璧はない。

遠隔でパソコンの不備を直してくれるサポートが始まって久し
い。遠隔で良いことができるなら、悪いこともできる。つい先日
もスマホのそんな事例をテレビの番組で紹介していた。

最近出た本に『地球に住めなくなる日』があるが、あまりに
色々なことが出来すぎたスマホ、そろそろ「スマホを使えなくな
る日」が来ているのではないかと思ったりする。

デジタルとアナログ、オンラインとオフライン。それぞれうま
く使いわけている人も少なくないと思うが、多くの人がもっと意
識する必要があるそう。個人的にはスマホに残すデータは最小
限にしている。

仕事とくらしに応じて、ある人はオンライン8割、オフライン2
割で事足りることもあろうし、逆にオンライン2割、オフライン8
割が適切という人もいるはず。

ツイッターのハッキングは、「slack」でのやりとりがハッ
カーに見破られたのが発端のよう。今も昔も、機密性の高い情報
は、直接会って伝えるのがまずは安全。

2020年7月27日（月） 今は陽ざし

午前8時半、今は陽が差している。でも予報では雨の一日。先
週木曜からの連休中もずっと曇や雨。百日紅があまり目立たた
ない。梅雨明けは今週末？

ー 操られないための備え ー

日常のニュースは新聞の日経と、BBCのサイト+日本の2、3
のサイトをチェックしている。SNSはしていないので、『オンラ
インのデマの拡大において、有名人が重要な役割と果たしてい
る』からは一定の距離をおけている。

その他の媒体にしても、ある程度は公平で正しい情報を得られ
るものに接するようになっているつもりだが、それでも 時々自分
を疑ってみる必要はある。認知科学の下條信輔さんがいつか、人
間の自覚なき意思決定について紹介していた。

今日の日経トップの『SNS巧者が操る民意』。アメリカ大統領
選に関連した特集『分断の米国 デジタルの魔力① 深層心理を
動かす』を読みながら、5年前だったか、NHKBSのドキュメンタ
リー「戦争とプロパガンダ」を思い出した。技術は違えど、為政
者のやろうとすることは同じ。

巧妙なやり口に操られないためには、まずは知的武装が肝心。フェイクニュースの問題が言われて久しい昨年秋に、ふと目にとまった本、『大衆の強奪 全体主義政治宣伝の心理学』。今年2月に読んだが、カラクリをおさえることができた。読んでよかった。備えあれば患いなし？

2020年7月31日（金） まずは晴れ

予報では不安定なお天気、昨夕は大阪市内に大雨警報が出た。かなり降ったが、あまり涼しくならなかった。それでも虫の声初聞き。明日から8月、7日は立秋。

— 指数関数的 —

昨日の緊急地震速報にはビックリした。FMをかけていて、急に警報が鳴り、あわててスマホのNHKのサイトを開いた。すると、速報に郡山の爆発のこと。地震と爆発と、何か関係があるのかとしばらく混乱した。緊急地震速報は結局、誤報だった。

そこで郡山の爆発事故の速報をあらためてチェックした。被害の程度がひどく、範囲も広い。夜のニュースで運営会社の記者会見があったが、同業の買収問題でこのところ新聞記事にもなっていた会社。事故の背景に組織のゴタゴタが関係なくもない？と思ったりした。

数年前に北海道であった不動産賃貸業FCの爆発事故。ニュースによると、最初は外で若い従業員たちが薬剤を処理していた。その様子を近隣の人に目撃されていて、その際、遊び半分な感じに見えたという。そのことがすごく印象に残っている。

追っての捜査で事業運営上の不正も明らかになり、『一事が万事』の感がした。『ハインリッヒの法則』や『バードの法則』、「指数関数的不安定性」が教えるように、ごくごく小さな、些細なミス、不具合を見逃せば、いずれ重大な事態に発展する。

ある数学者いわく、「ぼやけた情報は、しかし時間を経てその存在を浮かび上がらせる」